

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |   |   |                                  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |   |   |                                  |
| 1                  | <input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 職員会などで理念の意義を考えながら、利用者がその人らしく、ゆとりある生活をしていただけるように支援している。  |                                  |
| 2                  | <input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 理念をトイレや和室、事務所などいつも目につく所に貼り、読み返すことで、初心を忘れないよう、理念の下での介護に取り組んでいる。月1回のミーティングや日々の申し送りなどで話し合いをしている。 |                                  |
| 3                  | <input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | ご家族には入居時や面会時にホールに掲げている理念を理解してもらっている。また、運営推進会議やホーム見学時にも説明しています。                                |                                  |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |   |                                  |
| 4                  | <input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 隣近所の方から旬の野菜をいただいたり、血圧測定を頼まれたりして健康相談している。  |                                  |
| 5                  | <input type="checkbox"/> 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 自治会長さんから自主防災訓練に参加してみませんかとお誘いがあり、地域の方と一緒に避難所に避難しました。また、地区内の保育所と七夕飾りなどの交流をしています。                |                                  |

| 項 目                          |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 6                            | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                  | 地区内の方から、介護保険やグループホームについての問い合わせがあり、説明をしている。                              |      |                                  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |   |      |                                  |
| 7                            | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                           | 自己評価については全職員で取り組んでいる。外部評価の結果は職員会で報告し、サービスの質の確保や改善に向けた努力をしている。           |      |                                  |
| 8                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている           | 2ヶ月に1回実施し、ホームの取り組んでいる内容を報告したり、メンバーの方から意見をいただいている。職員会で報告しサービスの向上に活かしている。 |      |                                  |
| 9                            | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                            | 月1回、月次報告書を担当者に提出したり、実地指導で助言や指導を受けている。                                   |      |                                  |
| 10                           | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 地域福祉権利擁護事業について、職員会で勉強会を行っている。   |      |                                  |
| 11                           | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている            | 言葉使いや対応には十分配慮していくよう職員会等で話し合いをしている。                                      |      |                                  |

| 項 目             |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 |  |  |      |                                  |
| 12              | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                 | 入居時に重要事項説明書と入居契約書に時間をかけて十分に説明をしている。  |      |                                  |
| 13              | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 職員は利用者が不満を抱いていないか言葉や態度などで、その思いを察することができるように、かかわりを多くもつようにしている。  |      |                                  |
| 14              | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 家族が面会の際には近況報告を行い、ホームでの生活風景を写真に撮っているのをみていただいたりもしている。また、心身の健康状態に異変があった時は電話連絡をしている。金銭管理も出納帳にて確認をさせていただいている。 |      |                                  |
| 15              | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の面会時に意見や要望をお聞かしている。運営推進会議に家族からの意見や行事に参加してくれた時に、意見や要望が話しやすい雰囲気をつくるように取り組んでいる。                           |      |                                  |
| 16              | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | 運営者は職員と共にレクリエーションや調理をしたり、一緒に休憩をして、意見や提案ができる場面をもうけてくれている。   |      |                                  |
| 17              | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | 外出時には職員数を増やし、安全にサービスが提供できるようにしている。   |      |                                  |
| 18              | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 単独型のホームで職員の離職もなく、利用者との馴染みの職員が支援している。   |      |                                  |

| 項 目                              |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |   |  |      |                                  |
| 19                               | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 職員がスキルアップできるよう、外部の研修に参加できるようにしている。研修内容は職員会議で報告している。                            |      |                                  |
| 20                               | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 職員が個々に他のホームの見学には行っていますが、全体での交流はできていません。  |      |                                  |
| 21                               | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 運営者は上からの目線で伝えるのではなく、職員の意見を理解してくれたり、ひと息つける休憩時間をもうけてくれている。                       |      |                                  |
| 22                               | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | 運営者も状況に応じて、利用者とコミュニケーションを図り、職員の業務や悩みを把握している。また、職員が健康に留意して働けるよう定期的に健康診断を実施している。 |      |                                  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |   |  |      |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |   |  |      |                                  |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | サービス利用の相談があった時は、訪問やホームの見学をしていただき、本人の心身の状況や不安を理解して希望や要望をできる限りかなえられるようにしている。     |      |                                  |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 家族が相談や見学の際に、これまでの経緯やサービスの利用状況などをお聞きして、ホームとしてできることを説明している。                      |      |                                  |

| 項 目                              |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま<br>ず必要としている支援を見極め、他のサービ<br>ス利用も含めた対応に努めている  | 状態をお聞きした上で、どう対応するか検討している。満室<br>の時は他のサービスの説明はしています。   |      |                                  |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用<br>するために、サービスをいきなり開始するの<br>ではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気<br>徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工<br>夫している | 本人や家族にホームを見学していただき短時間でも利用者<br>や職員と一緒に過ごしていただき、馴染んでいただけよう<br>にしている。   |      |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |   |  |      |                                  |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場にお<br>かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共に<br>し、本人から学んだり、支えあう関係を築いて<br>いる                            | 昔を振り返って回想し、今と昔の話をしたり、おのおの話を<br>聞いたりして称える。(苦悩話など)日常生活の中で、人に对<br>する思いやり、優しさ等、学ばせていただいています。                             |      |                                  |
| 28                               | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場にお<br>かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支え<br>ていく関係を築いている  | 家族の方にできるだけ行事事に参加していただき、利用者<br>と多くの時間を過ごしていただいています。   |      |                                  |
| 29                               | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努<br>め、より良い関係が築いていけるように支援し<br>ている  | 入所までの状況等をきめ細かく家族に聞いて、よりよい方向<br>にむかえるように話し合い、家族と一緒に取り組んでいる。   |      |                                  |
| 30                               | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や<br>場所との関係が途切れないよう、支援に努め<br>ている  | 面会は自由で、受け入れ体制はできておりますが、長く入所<br>されていると、なじみの関係がとぎれやすくなってきておりま<br>す。馴染みの所(散髪)などは、行けるように支援しておりま<br>す。                    |      |                                  |
| 31                               | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤<br>立せずに利用者同士が関わり合い、支え合え<br>るよう努めている  | 利用者が咳をするとその利用者に背中をさすって(大丈夫<br>で)と言われたり、車椅子を動かそうとすると、押してあげたり<br>して、優しい声かけなどもしてくれています。全員の方が、余<br>暇活動等に参加できるように支援しています。 |      |                                  |

| 項 目                                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 32                                 | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 自宅へ帰られた方と、手紙や葉書などを書いて連絡を取っています。来所時には利用者と一緒に記念撮影をしています。                                      |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |   |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |   |   |      |                                  |
| 33                                 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 今一人の人が薬や食事拒否されてた時期があり、難聴で筆談でコミュニケーター四を取る。嗜好をお嫁さんに聞いたりして、食べていただけるものを考えて、少しずつ口にされるようになっていきます。 |      |                                  |
| 34                                 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 入居時だけでなく継続して、本人の以前の性格や生活環境を職員が把握することにより利用者も安心されております。                                       |      |                                  |
| 35                                 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 朝のバイタルと排尿、排泄、食事の量をチェック表に記入、異常な事があれば連携し夜勤者に伝える。  |      |                                  |
| 連携                                 |   |   |      |                                  |
| 36                                 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 利用者が自分らしく暮らし続けられるよう、本人や家族の要望を聞き、介護計画を作成している。  |      |                                  |
| 37                                 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者の状態変化や家族の要望に応じて見直しを行っている。しかし、十分見直しできていない。  |      |                                  |

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                 | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 個別ファイルを作成し、日々の記録をもとに職員の情報を共有している。また、食事・入浴・排泄など日々の暮らしの様子を記録している。 |      |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |   |      |                                  |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                | 利用者の心身の状態に応じ、かかりつけ医で受診したり、協力医療機関で往診をうけたりして柔軟に対応している。            |      |                                  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |   |      |                                  |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 近くの保育所との交流。外出時のボランティアの協力、民生委員の運営推進会議へ参加してもらっている。                |      |                                  |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 他のサービスは利用していない。   |      |                                  |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が出席してくれ、在宅の方の情報をお聞きしたりして、情報交換をしている。         |      |                                  |
| 43                                 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族が希望するかかりつけ医での受診を継続している。                                    |      |                                  |

| 項 目 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|--|------|----------------------------------|
| 44  | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している  | 徳大の脳神経外科へ通院をして、ホームでの生活に助言や指導をしてもらっている。         |      |                                  |
| 45  | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている   | 看護資格を有する職員が2名勤務しているので日常の健康管理や状態変化に応じた支援をしています。 |      |                                  |
| 46  | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 入院されたらお見舞いに行き、心の安心がもてるよう支援している。                |      |                                  |
| 47  | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | 状況に応じて、家族や医師と相談をして、職員会で方針や対応について話し合っている。       |      |                                  |
| 48  | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 本人や家族の意向を大切にし、かかりつけ医と連携を図り、対応している。             |      |                                  |
| 49  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | 他の事業所に移る時には、情報提供を行っている。                        |      |                                  |



| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|----------------------------------|
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |  |   |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                  |  |   |                                  |
| (1)一人ひとりの尊重                      |  |   |                                  |
| 50                               | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                     | 利用者と気軽に話し合えるようにしているが、プライバシーを守り、尊厳を傷つけない言葉かけをしている。                     |                                  |
| 51                               | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 利用者が自分で意思決定できるように、声かけをしたり、表情をよみとったりしている。                              |                                  |
| 52                               | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している       | 1日の生活の流れはありますが、利用者の体調や気分に合わせていただいています。                                |                                  |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援     |  |   |                                  |
| 53                               | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | 本人の意向を大切に支援をしている。外出時は、お化粧品やおしゃれを楽しんでいただいています。理美容は本人や家族の希望に添った対応をしている。 |                                  |
| 54                               | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている           | 同じテーブルで会話を楽しみながら、職員も一緒に食事をしています。可能な方には、下膳を手伝っていただいています。               |                                  |
| 55                               | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  | 一人ひとりの好みは、ある程度把握しているので、本人の身体に影響がない範囲で、一人ひとりの希望にそえるようにしている。            |                                  |

| 項 目                                  |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 56                                   | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している        | 排泄表を作成して排泄リズムを把握し、その人にあった排泄誘導を行うことで、気分よく生活していただいている。                                      |      |                                  |
| 57                                   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | 入浴の時間帯は、利用者が安心して生活してもらえるように時間帯は設定しているが、リラックスして入浴ができるように支援している。                            |      |                                  |
| 58                                   | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | その人に合わせた温度調節、布団の調節を対応し、安眠できるよう支援している。   |      |                                  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |  |   |      |                                  |
| 59                                   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 負担にならないように気をつけながら、掃除等を手伝っていただいています。身体を動かすことで、イキイキとされています。また、月1回の外出や遠足等を計画し、楽しみごとを増やしています。 |      |                                  |
| 60                                   | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 普段、お小遣いは預かっていますが、外出時には好きなものが購入できるよう、家族に連絡し、本人さんにお渡ししています。                                 |      |                                  |
| 61                                   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 散歩や庭に出て花や谷を見てリラックスしていただいている。車椅子の方も一緒に外にでています。   | ○    | 外に出かける機会や時間を増やしていきたい。            |
| 62                                   | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 月1回の外出や秋には遠足を実施しています。家族の方にも参加をお願いしています。   |      |                                  |

| 項 目                    |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 63                     | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 電話がかかってきた時、家族・友人とお話をする時もあります。また、遠方にいる家族の方にお手紙を出している方もおられます。                                |      |                                  |
| 64                     | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 面会は時間を定めていないので、いつでも気軽にこれるような体制をとっております。また、お茶を飲みながら、リラックスした気分で会話ができるようにしています。               |      |                                  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b> |   |  |      |                                  |
| 65                     | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束について、職員会で勉強会を行い、職員が一丸となって身体拘束を行わない、ケアに取り組んでいる。   |      |                                  |
| 66                     | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 心臓病で帰宅願望が強い時は、その方の体調面や安全面を考慮して、やむなく玄関に鍵をかけています。状態が安定している時は鍵はかけていません。                       |      |                                  |
| 67                     | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 日中は、ほとんどホールで過ごされているので所在確認できています。夜間はその人に応じた巡回をしています。  |      |                                  |
| 68                     | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 一人ひとりの状態に応じて、物品管理をしています。   |      |                                  |
| 69                     | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 避難訓練実施、転倒防止のためにベッドの下にジュウタンを敷いたり、床で休んだりとその人の状態に合った対応。誤嚥の対応では、トロミをつけたり、細かく刻んだりし、食事の見守りをしている。 |      |                                  |

| 項 目                       |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                 | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 70                        | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | 緊急時の初期対応の勉強会を職員で行っている。                          |      |                                  |
| 71                        | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | 地域の自主防災訓練に利用者・職員と一緒に参加しています。また、避難訓練も年2回実施しています。 |      |                                  |
| 72                        | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 一人ひとりの状態から、起こり得るリスクについて家族に説明し、理解を得ている。          |      |                                  |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |  |   |      |                                  |
| 73                        | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 普段の状況の把握・状態の変化をみのがさないように注意している。                 |      |                                  |
| 74                        | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 処方箋を作成している。薬の追加や変更があれば、必ず申し送りし、状態の変化がなかったか引き継ぐ。 |      |                                  |
| 75                        | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 野菜・水分・運動を多くとる。排便がみられない時は医師と相談し、薬で調節しています。       |      |                                  |
| 76                        | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                    | 毎食後歯みがき支援実施。夕食後は入れ歯を外して、ポリデントにつけています。           |      |                                  |

| 項 目                     |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)    |
|-------------------------|---|---|------|-------------------------------------|
| 77                      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事状況を確認して好みの物をすすめたり、声かけしたりと工夫しています。食べ過ぎる人には、野菜を多くつける工夫をしています。             |      |                                     |
| 78                      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)   | ノロウイルスの勉強会に参加して全職員で話し合いをし、手洗い消毒等を徹底している。                                  | ○    | 職員の感染症に対する理解を更に深め、利用者の安全に取り組んでいきたい。 |
| 79                      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 冷蔵庫内のチェックと消毒、まな板、タオル等は毎日消毒を実施しています。                                       |      |                                     |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |   |   |      |                                     |
| (1)居心地のよい環境づくり          |   |   |      |                                     |
| 80                      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 建物の周囲に季節の花を植えている。玄関には緑をたくさん置き、暖かい雰囲気づくりを心がけている。                           |      |                                     |
| 81                      | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間や廊下の壁に季節に合った飾り付けをして、環境づくりをしている。(利用者も一緒に)また、利用者の方がリラックスできるように、環境整備をしている。 |      |                                     |
| 82                      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | こたつやイスをたくさん置いたり、屋外にもウッドデッキでくつろげるスペースをこしらえている。                             |      |                                     |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 83                             | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人さんが家にいた時に使っていた馴染みの物を持って来ていただき、家と同じような環境づくりをしています。状況に変化があれば、その人に応じて対応しています。   |      |                                  |
| 84                             | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 冷暖房は冷えすぎないようにし、風が直接いかないように配慮している。(換気・温度調節をきちんとしている。)                           |      |                                  |
| <b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |  |      |                                  |
| 85                             | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 建物内部は、バリアフリーで随所に手すりを設置している。台所も対面式になっており、調理時も利用者の見守りが行えるようになっており、安全な環境づくりをしている。 |      |                                  |
| 86                             | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | 家族の了承を得て、居室に表札をつけたり、わからない人には、目印をつけています。トイレもわかりやすく目印をつけています。                    |      |                                  |
| 87                             | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | ウッドデッキに座り、中庭で外の空気に触れながら、お茶を飲んだり、ホームの敷地内にできている季節の果物を食べ、季節を感じていただいています。          |      |                                  |

| V. サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目              |  |                       |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      |                       | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         |                       | ①毎日ある        |
|                  |  |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |  | ○                     | ③たまにある       |
|                  |  |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○                     | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |  |                       | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |  |                       | ④ほとんどできていない  |

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |   |                       | ②数日に1回程度     |
|     |   | ○                     | ③たまに         |
|     |   |                       | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | ①大いに増えている    |
|     |   | ○                     | ②少しずつ増えている   |
|     |   |                       | ③あまり増えていない   |
|     |   |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている  | ○                     | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |   |                       | ②職員の2/3くらいが  |
|     |   |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |   |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○                     | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |   |                       | ②家族等の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどできていない  |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

○利用者の事故防止と状態把握に努め、少しの変化も見過ごさないよう注意しながら、不調時は、家族や主治医へ連絡して対応。利用者の状態変化に、職員全員で相談しながら対応し、利用者の方が安心して落ち着いて生活できるように取り組んでいます。  
 利用者とは笑顔で会話ができる、楽しい雰囲気づくりやまた、一緒に歌を唄ったりの時間を多くしている。  
 ホームから外の花が一年中見えるようホーム外回りへ花を植えて景色の良い、落ち着ける環境づくりに取り組んでいます。